

事業所名：グループホーム田井城の里

目標達成計画

作成日：令和4年11月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策の一つとして重要な備蓄品については、現状近隣の母体法人内で保管しているが、災害時には道路の寸断も想定され、受け取りできない恐れがある。	水や保存食などは、自施設内で備蓄する。	母体法人とも協議し、早急に自施設内で備蓄する。	6ヶ月以内
2	6	3ヶ月ごとに身体拘束適正化委員会を開催しているが、その記録や検討内容が定例化している部分がある。	委員会では、日常で身体拘束に該当するようなケアや発言をしていないかなどを意識した内容を検討して、それらの情報を職員で共有する。	毎回の検討内容がマンネリ化しないように意識し、また記録して、その検討内容を回覧するなどで情報共有する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。